

2021年7月5日

各位

株式会社ダイサン

代表取締役社長 藤田 武敏

電話06-6243-6341

第47期株主通信の誤記のお詫びと訂正について

この度、2021年6月に株主の皆様にお送りしました「第47期のご報告「DAISAN Report」」の記載に一部誤りがございました。

謹んでお詫び申し上げますとともに、訂正させていただきます。

記

【訂正箇所】 3ページ

特集 企業理念の一新と新中期経営計画の始動

業績目標 連結売上高

| 誤 | 正 |
|-------|-------|
| 135億円 | 125億円 |

新中期経営計画 第3次中期経営計画(2022年4月期~2024年4月期)

中期方針 ヒト創りとデジタル技術の共進

これまで、これからも、会社を支え発展させる源は人財です。
今後、労働人口は減少し、高齢化も進むことから、従来の様に必要な人財を十分確保していくことは難しくなると想定されます。そのため、様々な業務にデジタル技術を採用することで、効率化や自動化を進めるとともに、海外の人財も積極的に採用し、自ら考え、判断し、行動できるヒトを育て、事業の成長のために、それぞれが稼ぐことを意識できる組織へと変化してまいります。

既存事業の再構築と事業間連携の強化
情報や人財の共有、デジタル技術の導入、部門統合、新規事業立上げのほか、子会社を含めたグループ内での資源共有により、組織営業体制を整え、事業間連携によるシナジーを発揮し、お客様から、より選ばれる組織にしていきます。

未来社会に貢献するヒト創りと商品サービスの開発
環境にやさしい定場関連の事業領域を建設業界にまで拡げ、新たな商材を開発します。

ES(従業員満足)ファーストのガバナンス体制構築
会社永続のために最も大事にすべきは従業員であり、従業員が最大限に満足できる制度の構築を目指すとともに、統治体制の見直しを進めます。

新市場の創造と東南アジアでのビジネス基盤確立
今後、縮小を続ける住宅市場やヒトが確保しにくくなる労働集約型ビジネスに置き換わる、新たなマーケットを創造し、活動地域を国外に拡げることで、ビジネス機会を創出します。

ヒトとデジタル技術をつないだビジネス革新
社内のデジタル化は、社外の課題解決にもつながると考え、外販により新たな収益源へと成長させます。

業績目標
連結売上高 **135億円**
連結営業利益 **10億円**
2024年4月期

訂正箇所
正) 125億円

以上